

コンデンサマイク検査器の製作

どっかん

1. はじめに

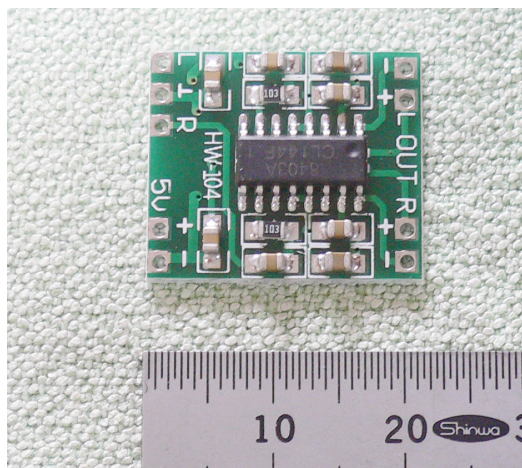
最近エレクトレットコンデンサーマイクのチェックの必要に迫られおもちや病院修理のヒントの製作記事（以下記事）を参考に製作を考えたが、既に 100 均ではボリュームアンプの入手が出来なくなっている。今回、格安小型のアンプモジュール（2枚 200 円、共立電子*）を入手したので記事に従い表記検査器に適用したところマイク検査器として使えた。

2. 用意したもの

記事に記載されたボリュームアンプ以外の以下のもの。

(1)アンプモジュール

IC [PAM8403]が実装された基板
サイズは 20 mm×20 mmと小さい。



(2)ユニバーサル基板

マイクへ直流を乗せる回路を 15 mm×15 mmに切り出したユニバーサル基板に配置しておく

(3)100 均で購入したケース

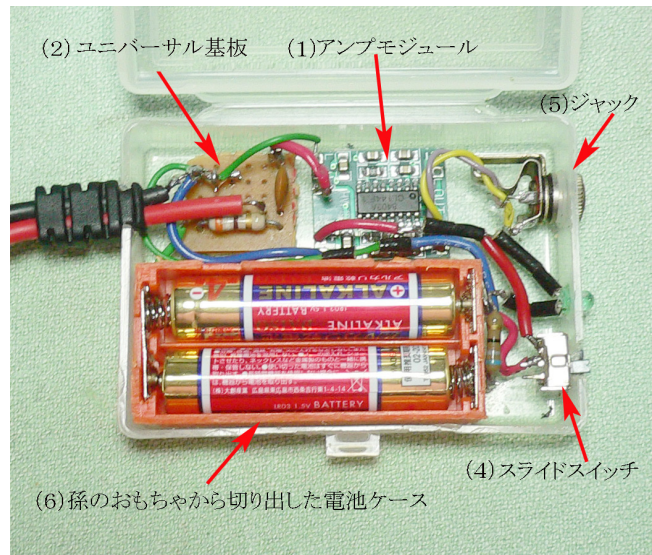
(4)スライドスイッチ

(5)マイクジャック

(6)単 4 × 2 電池ケース

（孫のおもちゃより切り出した）

*ネットでは 10 枚 500 円で入手可能



2. 各部の配線

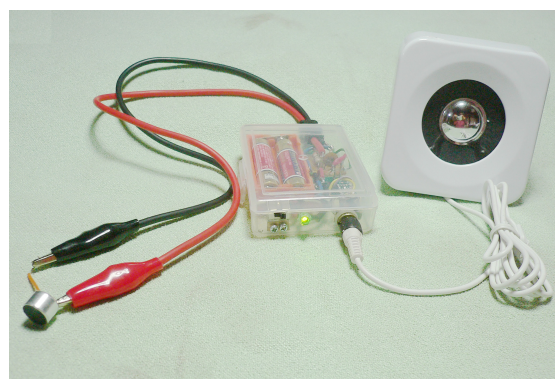
アンプモジュールマイクへ接続するユニバーサル基板は両面テープでケースに接着し配線した。

電池ケースにはあらかじめ 1.5V を取り出すためのリード線を半田付けしてからケースに接着した。

アンプモジュールのマークに従い電源、ユニバーサル基板からの入力、ジャックへの配線をする。（モジュールはステレオなのでRだけを使った）

通電表示用 LED、測定用クリップを半田付けする。

3. 使用の様子



参考資料：おもちゃ病院修理のヒントチェック編

1. マイクチェッカーの製作（西の中村）
2. コンデンサマイク検査器の作成法（トミー・マック）

以上

2019.8.31